平成○○年○○月○○日

○○中学校　道徳係

持ち回り道徳について

１．ねらい　　道徳授業の質の向上。

・同じ教材で数回授業ができるので、授業展開などを吟味し、より適切な　　　　　　　　授業展開が考えられる。

・担任するクラス以外でも道徳授業をすることで、教員の道徳授業の授業力がより

いっそう磨かれる。

・さまざまな教師の価値観に触れることで、生徒の視野が広がる。

２、実施日　　第一回 【１年○週・２年○週・３年○週】

　　　　　　　○○月～○○月の道徳（○曜○限）の中で、日程を各学年で選択して実施

第二回　 【１年○週・２年○週・３年○週】

○月～○月の道徳で実施予定

３、方式　　　各学年の教師陣が一人一教材を選び、全クラスを回って授業をする。

「学級担任か副担任１名が担当となり、○回の実施を基本とするが、２名とも担当となり、○回の実施も可とする。」

　　　　【例】Ａ先生が「風に立つライオン」を選び、指導案を作成する。１週目は２組

（教材を検討し、可能ならば１組も入る）次の週は３組。その次の週は４組

というふうに各クラスを回って授業を行う。

【３クラス６週の例】

**１週目 ２週目 ３週目 　４週目　 ５週目　 ６週目**

１組→ ２組→ ３組→ １組参観→１組参観→１組参観

２組→ ３組→ １組→ ２組参観→２組参観→２組参観

３組→ １組→ ２組→ ３組参観→３組参観→３組参観

Ａ先生（１組担任）

Ｂ先生（２組担任）

Ｃ先生（３組担任）

前　半　組

**１週目　　２週目 　３週目　４週目　５週目　６週目**

１組参観→１組参観→１組参観→ １組→ ２組→ ３組

２組参観→２組参観→２組参観→ ２組→ ３組→ １組

３組参観→３組参観→３組参観→ ３組→ １組→ ２組

後　半　組

Ｄ先生(１組副担任)

Ｅ先生(２組副担任)

Ｆ先生(３組副担任)

４．その他

・「指導案」の作成が望ましいが、難しければ従来の「指導の流れ」でも構わない。

* 項目の設定については、できる限り年間を通したバランスがはかられることが望ましい。また、生徒の実態に即した内容となることに留意する。

・内容については、校内にない教材・自作の教材いずれも可とする。

・指導案（指導の流れ）については学年会で検討し、道徳部会でも確認するものとする。

**★持ち回り道徳★**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ○年 | 授業者 | 項目 | 教材・資料名 |
|  |  | ○（○）○○○○ |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

★持ち回り道徳第一回目を終えて★

・**持ち回り道徳の指導案**

　Ｈ○○研究部→道徳教育→道徳教材→各学の持ち回り資料のフォルダに保存

・**持ち回り道徳のデーター**

　学習系サーバー→H○○持ち回り映像→各学年のフォルダに保存

　指導案とデーターの２点を冬休みまでに保存よろしくお願いします。

★**各担任の先生方★**

・来年度の資料選定のためにも、今までに行った道徳資料の道徳分析を冬休み明けまでに今年度の分は必ず入力をお願いします。

★**資料保存について**★

・各道徳の資料ＤＶＤなど使ったら、各学年の道徳係に渡すなどして、必ず返却をお願いします。来年度使用する時に、紛失が多いと困りますので、よろしくお願いします。